

1980 年台初頭に始まった EMR の手技は、早期胃癌の内視鏡治療に用いられるようになってすでに 20 年の歳月が過ぎようとしている。それ以前にも、手術不能な早期胃癌症例に対して局注法やレーザー療法といった組織破壊法を用いた内視鏡治療が行われていたが、病理組織学的検討が可能な EMR の手技の開発によって早期胃癌に対する内視鏡治療が本格的に行われるようになった。当初はその適応について様々な議論が交わされ、リンパ節転移のない条件として“潰瘍形成のない高分化型の粘膜内癌で、大きさ 20 mm 以下”という一定のコンセンサスが得られたが、近年その適応拡大が大きな話題となっている。

今回の特集では、標準的適応における EMR の成績、適応拡大として 20 mm 以上の大きな病変に対する手技の工夫、内視鏡治療を念頭に置いた未分化型癌の臨床病理学的検討、遺残再発病変に対する治療法などが提

示されているが、EMR の黎明期から関わってきた筆者にとってはまさに今昔の思いが否めない。後藤田氏、小山氏、石後岡氏の論文に示されている全周切開と粘膜下層の直接切離という EMR の新しい手技は、EMR の適応拡大にとって今後必須の手段となっていく可能性が高い。残念ながら現在のところ、従来の手技に比べて簡便性や安全性に問題があるが、その普及のためにはさらに様々な処置具の開発や手技の工夫が必要と思われる。

このように早期胃癌に対する EMR は新しい時代を迎えようとしているが、闇雲に適応拡大に走ることは戒めなくてはならない。古川氏の論文にあるようにできるだけ正確な情報を患者に伝え、十分なインフォームド・コンセントの基に良質な診療を行うことが消化器専門医としての責務と考える。

胃と腸

9 月号 (第 37 巻・第 10 号) 予告

発売予定

9 月 25 日

定 価 (本体 2,300 円+税)

主題／食道 sm 癌の再評価—食道温存治療の可能性を求めて

序 説	食道粘膜下層癌の再評価—食道温存治療の可能性を求めて……………東京都立墨東病院外科	吉 田 操
主 題	食道 sm 癌に対する食道温存治療の可能性 —病理の立場からの検討……………大阪府立成人病センター病理細胞診断科	真能 正幸・他
	食道粘膜下層癌の病態—病理学の立場から……………恵佑会臨床病理学研究所	藤田 昌宏・他
	食道 sm 癌に対する食道温存治療の可能性—内視鏡の立場からの 検討……………東海大学医学部外科	島田 英雄・他
	食道 sm 癌に対する食道温存治療の可能性—X 線の立場からの 検討：肉眼形態分類から見たリンパ節転移の推定……………東京都立駒込病院内科	加藤 久人・他
	食道 sm 癌に対する食道温存治療の可能性—外科の立場からの 検討……………虎の門病院消化器外科	宇田川晴司・他
	食道 sm 癌に対する食道温存治療の可能性—分子生物学の 立場からの検討……………慶應義塾大学医学部外科	小澤 壯治・他
主題研究	食道 sm ₂ /sm ₃ 癌に対する放射線・化学療法の治療成績……………国立がんセンター中央病院内科	室 圭・他
主題症例	non-Hodgkin's lymphoma (NHL) や慢性関節リウマチ (RA) を 伴い EMR 施行した食道 sm ₂ 癌の 1 例……………千葉大学医学部先端応用外科	星野 敏彦・他
	EMR を施行した食道 sm ₂ 癌の 1 例……………東京医科歯科大学食道胃外科	阿美 克典・他
	低分化型扁平上皮癌の sm 癌 (sm ₃)、放射線・化学療法にて 著効し、4 年生存中の症例……………東京都立駒込病院内視鏡科	門馬久美子・他
	食道 sm ₂ /sm ₃ 癌に対して放射線・化学療法を行い 5 年以上 経過している 1 例……………虎の門病院消化器外科	木ノ下義宏・他

胃と腸 (第 37 巻 第 9 号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802 / 3815-7982

E-mail: itocho @ igaku-shoin.co.jp

2002 年 8 月 25 日発行 (毎月 25 日発行)

1 部定価 (本体 2,300 円+税)

2002 年年ぎめ予約購読料 33,810 円

(増刊号 5,500 円を含む 13 冊) (送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷 (株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎ (03) 3814-8541

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2002, Printed in Japan.

• 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株) 医学書院が保有します。

• JCLIS < (株) 日本著作出版権管理システム委託出版物 >

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に (株) 日本著作出版権管理システム (電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199) の許諾を得てください。

• 医学書院ホームページ (インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当) 阿野・渡辺・飯村・小松原